

戒壇院(太宰府市)

こちらが正面の山門



天下三戒壇の一つ/東大寺戒壇院建立後、761年に日本の東西で授戒ができるように、下野薬師寺とともに戒壇院が設置された



山門東門土塀は歴史的風致形成建造物に登録されているようだ



結界石/「葷酒肉境内に入るを許さず」



前方は本堂/手前の遺構は元禄14年(1701年)に造立された楼門の礎石



こな塩梅



これは鐘楼/梵鐘(福岡県指定文化財)は福岡で酒造業で財を成した白木玄流が元禄14年(1701年)に寄進したもの



本堂/戒壇院の戒壇堂ということか



上層の扁額



下層の扁額



右側面を見たところ



寺名の入った軒丸瓦



内部





正面は本尊：木造盧舎那仏座像(重要文化財)/脇侍：木造文殊菩薩像(右)・木造弥勒菩薩像(左)(共に太宰府市指定文化財)







木造鑑真和上像(太宰府市指定文化財)



境内にはさまざまな石造物があった



右手は鑑真和上の供養塔/左手は変形宝篋印塔





鑑真和上の供養塔(古)

五輪塔 屋根型に「開山大唐国」と陰刻

変形宝篋印塔(左)

裏に「奉納山崎勝重」
天明七年の陰刻(一七八七)

こちらは天王寺屋浦了無供養塔/天王寺屋浦了夢(了無)は福岡の豪商で、延宝8年(1680年)、本殿を改築するなど戒壇院の再建に多大な貢献した/貞享2年(1685年)造立/高さ3.5m





五重塔

戒壇院再建に尽した博多の豪商天正寺屋浦了無の供養塔、裏に「単依了無居士」貞享三年の陰刻(二六八五)あり。
塔身初層にくり穴があり、佛舍利一粒、小版本大乘妙典十卷、国回札、三ツの紙包(文書)が納置されていた。

こちらにも石造物が



これは東門/観世音寺境内に向かって開かれている/扁額に「西戒壇」とあるのはその名残らしい



参考ホームページ

<http://www.geocities.jp/kaidanin925/>

<https://www.dazaifu-japan-heritage.jp/bunkazai/detail.php?cId=500>

<http://www9.plala.or.jp/kinomuku/Kanzeon/kaidanin.html>

<http://www.kyushu-sanpo.jp/kanko/fukuoka/kaidan-in/kaidan-in.html>

